

鑄銭司里山パーク

- ☆ 日 時：平成23年8月13日（土） 9：30～12：00
- ☆ 場 所：鑄銭司小学校裏山（山口市鑄銭司）
- ☆ 参加者：30人（こども16人・大人14人）
- ☆ 主催者：鑄銭司小学校おやじの会

1 スケジュール

- 9：30～ 開会行事
- 9：30～12：00 草刈、雑木除去作業、遊歩道の散策、
閉会・片付け

2 活動内容

けもの道を遊歩道へと変身させるプログラムは、昔、小学生だった親世代が、里山の自然観察や自然探検をしていた頃の豊かな自然環境を再現するために、こどもたちと実施するものです。今回は、こどもたちが、鑄銭司小学校おやじの会とともに遊歩道の雑木の除去と草刈をしました。また、地元の自然に詳しい藤本敏氏を講師として遊歩道の自然環境や歴史について学びました。

○遊歩道の草刈と雑木除去および散策

観察会講師の藤本敏氏から、観察ルートの説明を受けた後、遊歩道の草刈等を実施するため、こどもたちに鎌を持たせ出発しました。



小学校の裏山には、農業用のため池が点在しており、山にはクヌギやヒノキ等があり、今でもクヌギを利用してシイタケ栽培が行われていること。また、ところどころにお地蔵様が安置されており地域と密着した里山として昔から利用されていること等を学びました。



植林された樹木や農業用に利用されるため池の説明



こどもたちの手つきはおぼつかないが、少しずつ遊歩道沿いの草を刈りました。



遊歩道や山の中にも空き缶やペットボトルが投棄されており、これらも自主的に回収しました。



前回の活動で切り開かれた遊歩道を通り学校に戻りました。まだ獣道ですが、少し切り開かれています。



前回、学校の裏から山に通じる元遊歩道だった場所を整備しました（左：整備前・右：整備後）

天気予報に反して、晴天となったこの日、こどもたちと鑄銭司小学校おやじの会が、約 2 時間かけ、草刈や除伐作業等の遊歩道の整備と現在も地域の人に利用されている遊歩道と整備された遊歩道を歩き、講師の話聞き、里山の役割を学びました。

昔の里山の姿を残すこの山にある遊歩道が、こどもたちの自然に親しむ場所として利用されることでしょう。